

# せつめい文を よんで えらぼう

小2／文章を よんで、いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう

なまえ \_\_\_\_\_

ひづけ \_\_\_\_\_

## 1 友だちの名前を よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

あたらしい クラスで、友だちの 名前を 何回も 心 の 中で となえて おぼえよう と しました。でも、つぎの 日には わすれて います。すぐに 名前を よんで 話しかける ように すると、ふしぎと わすれなく なりました。

1 名前は、よんで 話しかけると なかよく なる。

2 名前は、心 の 中で となえると おぼえられる。

3 名前は、よんで 話しかけると おぼえられる。

4 名前は、心 の 中で となえると なかよく なる。

## 2 たんぽぽの花を よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

たんぽぽの 花は、一ど さいたら、そのまま ひらいて いると 思われがちです。でも、朝に ひらいて 夕方に とじる ことを、何日か くりかえします。そして、さいごに とじた あとで、わた毛の 玉が できるのです。

1 たんぽぽの 花は、小さな 花が たくさん あつまった ものだ。

2 たんぽぽの ねは、土 の 中で とても 長く のびる。

3 たんぽぽの わた毛は、雨の 日には とじて いる。

4 たんぽぽの 花は、何日か ひらいたり とじたり する。

## 3 ほうきを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

きょうしつ の そうじで、ほうきを 強く うごかして はいて いました。すると、ごみが とびちって、かえって 時間 が かかります。ゆっくり はく ように すると、とびちらずに、早く おわりました。ごみの のこり方は、どちらも 同じくらいでした。

1 ほうきは、ゆっくり はくと 早く おわる。

2 ほうきは、強く はくと ごみが のこらない。

3 ほうきは、ゆっくり はくと ごみが のこらない。

4 ほうきは、強く はくと 早く おわる。

## 4 手あらいを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

手を あらう ときには、あたたかい おゆの ほうが、よごれが よく おちると 思いがちです。でも、つめたい 水でも おゆでも、おちかたは あまり かわりません。大きく かわるのは、せっけんで こする 時間の 長さです。

1 手の よごれは、あたたかい おゆの ほうが おちる。

2 手の よごれの おちかたは、こする 長さで かわる。

3 手の よごれは、ぬれた 手の ほうが つきやすい。

4 手の よごれは、つめの 間に いちばん のこりやすい。

## せつめい文を よんで えらぼう【こたえ】

小2／文章を よんで、いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう

なまえ \_\_\_\_\_

ひづけ \_\_\_\_\_

### 答えと、たしかめるところ

#### 1 答え：3

となえても『つぎの 日には わすれて います』。名前を よんで 話しかけると『わすれなく なりました』と あります。ほかは 文と 食いちがうか、文に 書いて いません。

#### 2 答え：4

『朝に ひらいて 夕方に とじる ことを、何日か くりかえします』と あります。ほかは 文に 書いて いません。

#### 3 答え：1

強く はくと『かえって 時間が かかります』。ゆっくり はくと『早く おわりました』。ごみの のこり方は『同じくらい』でした。

#### 4 答え：2

『水でも おゆでも、おちかたは あまり かわりません』『大きく かわるのは…こする 時間の 長さ』と あります。ほかは 文に 書いて いません。

### 読み取るコツ

さいごの 文の まとめを 見つけます。文に ない ことは えらびません。